

宜 基 渉 第 43 号  
平成 29 年 1 月 17 日

第三海兵遠征軍司令官  
沖縄地域調整官 ローレンス D. ニコルソン中将 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

米軍機の夜間訓練に伴う騒音及び異音の発生について（抗議・要請）

市民生活への影響が大きい騒音については、機会あるごとに抗議や要請を行っているが、依然として市民からの苦情は増加傾向にある。今年度は1月16日現在で、既に348件の騒音苦情が寄せられており、記録をとり始めてから過去最高だった昨年度を更新する状況となっている。

このような中、1月12日には、20時から22時の間に米軍機の訓練が集中し、平均して約3分に1回の頻度で、住宅地上空を飛行する米軍機が確認されており、大学入試センター試験が行われた1月14日にも、米軍機による騒音とそれに伴う苦情が寄せられた。

このように、家族団らんや休息をとる時間帯に、市民生活に甚大な影響をおよぼしている現状は遺憾といわざるを得ない。

また、市には米軍ヘリが異音を発しながら低空飛行をしているとの訴えが寄せられるとともに、1月13日には、CH-53ヘリが前脚降着装置に機械的障害を起こしたとの情報を沖縄防衛局から受けたところである。昨年12月13日にオスプレイ不時着水事故及び、別のオスプレイの脚部故障事案が相次いで発生して以降、市民の不安が払拭されていない中で、さらに市民の不安を増すような運用は決して容認できるものではない。

については、現状に強く抗議するとともに、下記の事項について強く要請する。

#### 記

- ・ 22時から翌朝6時までの間の飛行及び、エンジン調整等の地上での活動の禁止と、19時以降の飛行の抑制
- ・ 住宅地上空における旋回訓練及び低空飛行訓練の禁止
- ・ 市民から訴えのあった、米軍機から聞こえる異音の原因報告
- ・ 機体の整備をはじめとする、安全管理の徹底
- ・ 抜本的解決のため、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現及び、市民が実感できる危険性の除去並びに、基地負担軽減の実施